



東京文化発信プロジェクト
東京から生まれる新しい文化の波

世代をこえて、広がる感動。東京から発信する伝統文化。

東京発・伝統 WA 感動

TOKYO TRADITIONAL ARTS PROGRAM

PRESS RELEASE

平成 22 年 5 月 7 日

◇ 開催趣旨

能楽、文楽、歌舞伎、邦楽、茶道、華道など、日本には世界に誇るべき伝統芸能・文化があります。それは日本人が自然と向き合い、共生し、人の和を大切にしながら長い時をかけて育んできた財産。さまざまな伝統と共に、根底にある「自然とのつきあい方」や「和の心」を次世代に継承していくことが現代に生きる私たちに求められています。しかし、未来を担う子供たちがその魅力に触れる機会はどんどん少なくなっています。

こうした時代背景を考え、「東京文化発信プロジェクト」の一環として始まったのが、誰でも気軽に参加できる「東京発・伝統 WA 感動」。伝統芸能・文化の魅力を国内外に向けてアピールし、その普及と活性化を図っていく事業です。

今年度からは、「伝統芸能公演」に「キッズ伝統芸能体験」と「東京大茶会」が新たに加わり、多彩な企画がそろいました。「キッズ伝統芸能体験」は、子供たちが 7 ヶ月間にわたって一流の実演家から能楽や日本舞踊など伝統芸能を学んで、ひのき舞台上で発表する本格的プログラムです。「東京大茶会」では、和の心、茶の心を都民をはじめ、東京都を訪れる外国人や多くの方にも楽しんでいただきます。

また、第2回目を迎える「伝統芸能公演」の今年のテーマは「声-語る・唄う」。江戸時代から庶民の憩いの場として親しまれてきた隅田川を舞台に名手が競演する、能と邦楽「隅田(すだ)の四季」を中心に、伝統芸能を気軽に体験して楽しんでもらう「邦楽入門ワークショップ」、天台声明「投華得仏(とうけとくぶつ)」、民俗芸能「東京・江戸の賑わい その2」、88年ぶりに二つの流派が共演する邦楽「清元」などを行います。

便利さだけでなく、ゆたかな文化や環境、多彩な価値と魅力を備えていることこそ、都市が発展する条件といえる現代。この「東京発・伝統 WA 感動」は、日本の伝統を継承すると同時に「芸術文化創造都市」としての東京を世界に広く発信し、大きな未来を育むプロジェクトです。

< 東京文化発信プロジェクトとは >

東京文化発信プロジェクトは、東京ならではの芸術文化の創造・発信と、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団がアートに関わる様々な団体と協力して実施しているプロジェクトです。様々な芸術分野のイベントや、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどを展開しています。

◇ 開催概要

名称 東京発・伝統WA感動

■キッズ伝統芸能体験

- ★参加者募集期間 平成22年7月1日(木)～7月31日(土)
- ★お試し体験・見学会 平成22年7月24日(土)、25日(日)／芸能花伝舎
- ★開講式 平成22年9月4日(土)／国立能楽堂
- ★能楽発表会 平成23年3月21日(月・祝)／宝生能楽堂
- ★日本舞踊・三曲・長唄発表会 平成23年3月29日(火)、30日(水)
／浅草公会堂大ホール

■伝統芸能公演

○主催公演

- 1、邦楽入門ワークショップ
平成22年8月20日(金)～22日(日)〈予定〉／都内にて開催予定
- 2、能と邦楽「隅田の四季」
平成22年8月31日(火)／東京芸術劇場中ホール

○共催公演

- 1、邦楽【芸の真髓】「清元～清き流れひと元に～」
平成22年8月24日(火)／国立劇場大劇場
- 2、邦楽「俚奏楽」
平成22年9月4日(土)／国立劇場大劇場
- 3、天台声明「投華得仏(とうけとくぶつ)」
平成22年9月25日(土)／国立劇場大劇場
- 4、民俗芸能「東京・江戸の賑わい その2
芝居と語り芸—東京・江戸の庶民の娯楽—(仮)」
平成22年10月9日(土)／国立劇場小劇場

■東京大茶会 平成22年10月 都内2箇所にて開催予定

主催 東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、
東京発・伝統WA感動実行委員会

※東京発・伝統WA感動実行委員会構成団体
社団法人日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人日本芸術文化振興会、NHKエンタープライズ

お問合せ

- 開催に関するお問い合わせ・取材のお申込
東京発・伝統WA感動実行委員会事務局
〒150-0047 東京都渋谷区神山町5番20号 神山町小川ビル3階
Tel: 03-3467-5421 Fax: 03-3467-5422 E-mail: info@dento-wa.jp
「東京発・伝統WA感動」ホームページ: <http://www.dento-wa.jp>

※「キッズ伝統芸能体験」に関するお問い合わせ先
社団法人日本芸能実演家団体協議会・芸能文化振興部
「キッズ伝統芸能体験」事務局 Tel. 03-5909-3060

※各事業の詳細については、決まり次第、改めてお知らせします。

■キッズ伝統芸能体験

伝統芸能を学んで、ひのき舞台で発表する、本格的な7ヶ月のプログラム。

興味はあるけど、何となく敷居が高いと捉えられがちな伝統芸能の世界。子供には体験させたい。そう願う大人が増えています。けれども、体験ワークショップの多くは短期の単発イベントに留まり、特に子供達を対象に、一定期間にわたって、信頼の置ける良質な体験の場を提供するプログラムは圧倒的に不足しています。

こうしたニーズに応えるのが「キッズ伝統芸能体験」。約7ヶ月間にわたって、さまざまな分野のプロの芸術家が子供達を直接指導し、本格的な舞台でその成果を発表します。

プロの姿を間近に感じながら定期的に稽古を重ねる過程で、技術だけでなく、礼儀作法や厳しさも自然と身につきます。ひのき舞台での発表は、目的意識の大切さや達成感を体験する仕掛け。異なる分野で稽古をした子供達が同じ舞台に立つことから、伝統芸能の多彩さや奥の深さに気づくことになります。

このプログラムの大きな目的は、子供達だけではなく、家庭や学校、さらに地域で、伝統への関心を高めながら次世代へ継承し、東京の文化的魅力を深めていくこと。参加者も、平成20年度は277名、平成21年度は315名と着実に増え、「これほどとは思ってもみなかった」「参加して本当に良かった」「もっとお稽古したい」と感動の声が相次いでいます。

【制作・運営】社団法人日本芸能実演家団体協議会

【協力】公益社団法人能楽協会、社団法人日本舞踊協会、社団法人日本三曲協会、社団法人長唄協会

【ジャンル】能楽(謡・仕舞、狂言、囃子)、日本舞踊、三曲(箏曲)、長唄(三味線、囃子)

【会場】都内8箇所で開催

【参加者募集】7月から開始(募集の詳細については、決まり次第、改めてお知らせします。)

■伝統芸能公演

邦楽入門ワークショップ

気軽に観て、聴いて、体験して、さまざまなスタイルで楽しむ、邦楽の魅力。

楽器の体験、唄や語りのレッスン、プロの演奏家によるコンサートなど、さまざまなスタイルで邦楽に親しむ企画を予定しています。

【開催日時】平成22年8月20日(金)～22日(日)〈予定〉

【会場】都内にて開催予定

能と邦楽「隅田(すだ)の四季」

能と邦楽ー昔も今も人々に愛されている「隅田川」をテーマに、名手が競演。

昨年の〈東京発・伝統WA感動〉邦楽コンサート「月」に続いて、今年のテーマとして取り上げるのは「隅田川」。東京を流れる川の中で、最も親しまれ、最もにぎわう「隅田川」は、江戸時代から、河川交通の大動脈として、漁場として、庶民の生活を支えてきました。同時に、舟遊び、花見、花火見物などを楽しむ憩いの場でもあり、能、歌舞伎、日本舞踊、邦楽、落語などの芸能をはじめ、浮世絵にも数多く登場することから、その存在の大きさがうかがえます。

今回の公演は、「隅田川」にゆかりのある古典の名作とともに邦楽の新作を上演することで、「伝統と現代」をつなぐ企画。能や邦楽の楽しさに触れる機会であると同時に、造詣の深い方々にも堪能できるよう、出演者には第一線で活躍する名手を揃えています。

【開催日時】平成 22 年 8 月 31 日(火) 18:00 開演

【会場】東京芸術劇場中ホール

【出演】梅若玄祥、宝生閑

今藤長十郎、萩岡松韻、清元美治郎、本條秀太郎、藤舎呂船 ほか

邦楽【芸の真髓】「清元 ～清き流れひと元に～」

邦楽を代表する「清元」のふたつの流派が、88 年ぶりに共演する、歴史的な公演。

古典芸能ファンの要望に応える「芸の真髓」。江戸時代後期に生まれた語り芸「清元(きよもと)」にスポットをあてています。「清元」は、歌舞伎や舞踊の洒脱な音楽として高い評価を受けていましたが、大正時代になると、芸の行き違いから清元宗家と清元流家元の二派に分裂。そのまま現代に至り、七世清元延寿太夫を中心とした清元宗家と、四世清元梅吉を中心とした清元流が、共に大名跡として邦楽界に重きを成し、別々に活躍しています。

今回の「芸の真髓」は、この二つの流派が今までの経緯を乗り越えて 88 年ぶりに共演する、邦楽界にとって画期的な公演です。

【開催日時】平成 22 年 8 月 24 日(火) 18:00 開演

【会場】国立劇場大劇場

【出演】清元延寿太夫、清元梅吉、清元清寿太夫(人間国宝)、清元榮三(人間国宝)

ほか清元社中総出演

【特別出演】十五代目片岡仁左衛門

邦楽「俚奏楽(りそうがく)」

三味線と唄と自由な発想から生まれた、現代の伝統音楽。

「俚奏楽」は、端唄演奏家の本條秀太郎によって、昭和46年に創始された三味線音楽。三弦の自由闊達な奏法を生かし、庶民に受け継がれた“うた”や、普遍的、民族的な躍動感を秘めた旋律をモチーフに、現代の伝統音楽として生まれました。端唄、民謡、仕事唄などを基本として、現代的な趣の歌詞、唱法、奏法、旋律などを加えた、みずみずしい音楽性が特長です。

今回の演奏会では、江戸人あるいは東京人と自然(特に隅田川や多摩川など)との対話をテーマとした作品、江戸の川にまつわる人々の営みに着目した作品を中心に、新曲を含めた構成を予定しています。

【開催日時】平成22年9月4日(土)、12:00開演／16:30開演<予定>

【会場】国立劇場大劇場

【出演】本條秀太郎、花柳寿南海、橘芳慧 ほか<予定>

天台声明「投華得仏(とうけとくぶつ)」

曼荼羅に見立てた舞台空間に、深く、ゆたかに響きわたる、天台密教の「声明」。

国立劇場では、昭和41年の開場以来、日本の伝統音楽としての「声明(しょうみょう)」に着目し、その魅力を広く観客に紹介してきました。今回は、特に高度で精緻な音楽理論が確立され、ゆたかな音楽性を湛える「天台声明」を取り上げ、厳格に伝承された声の力を提示します。

「投華得仏(とうけとくぶつ)」は、天台密教の最高法儀である「灌頂会(かんじょうえ)」で行われる儀式で、曼荼羅(まんだら)に向かって華を投げ、その落ちたところの仏と縁が結ばれるというもの。「灌頂会」で唱えられる声明は複雑で変化に富み、音楽的にも大変興味深いものとなっています。この公演では、曼荼羅に見立てた空間と声明で、舞台芸術としての「投華得仏」を上演します。

【開催日時】平成22年9月25日(土) 14:00開演予定

【会場】国立劇場大劇場

【出演】天台宗総本山比叡山延暦寺法儀音律研究所

民俗芸能「東京・江戸の賑わい その2

芝居と語り芸—東京・江戸の庶民の娯楽—(仮)」

地芝居、人形芝居、語り芸で、たっぷり満喫する、江戸から明治にかけての娯楽。

昨年11月の民俗芸能公演「東京・江戸の賑わい」に続く第二弾。今回は東京の地で庶民が楽しんでいた娯楽の中から、三つの「芝居」とさまざまな「語り芸」を上演します。

「芝居」で取り上げるのは、歌舞伎が栄えた江戸時代に、人々が観る側から演じる側へと転じて生まれた、地芝居や人形芝居。その独特の魅力を今に伝える3グループが登場します。そして江戸時代から明治時代にかけて流行した「語り芸」で紹介するのは、義太夫節、新内節、説経節、落語、活動弁士。それぞれに異なる面白さを満喫できる公演です。

【開催日時】平成22年10月9日(土) 14:00 開演予定

【会場】国立劇場小劇場

【出演】八王子車人形西川古柳座、秋川歌舞伎あきる野座、劇団みんな座
新内仲三郎、柳亭左龍、澤登翠 ほか

■東京大茶会

伝統ある茶文化を広く普及するとともに、東京を観光で訪れる方々にお茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を紹介することを目的として、大規模な茶会を開催します。

茶道に関心のない方や、外国から観光で訪れた方など、誰でも気軽に日本の伝統文化「茶の湯」を楽しんでいただけるよう、「東京大茶会」では、基本的な作法をご紹介します企画も予定しています。

伝統文化に触れながら秋の一日をお過ごしいただきます。

【開催日】平成22年10月開催予定

【開催会場】都内2ヶ所にて実施予定

※開催日やプログラム等の詳細については、決まり次第、改めてお知らせします。